

学校だより



令和4年4月7日
横浜市立二谷小学校
校長 矢島 孝幸

「新しいスタート」

学校長 矢島 孝幸

「皆さんが4月に登校してきた時は、きっと桜の花が満開になっているでしょうね。」と、昨年度の修了式で話をしたのが、つい先日のです。

令和4年度が始まりました。桜の花も397名の登校を待ち望んでいるかのように美しく咲き誇っています。桜が咲くと気持ちが高まります。心がうきうきしてきます。桜には人の心をくすぐる不思議な力があります。まさに、学校での子どもたちのようです。春休み中の学校に今ひとつ活気を感じないのは、主役である子どもたちの存在がないからです。子どもたちが登校することで、学校は生まれ変わります。活気があり、明るさが生まれ、全く違う校舎に変身するような気がします。やはり、子どもたちの姿があつての学校だと改めて実感します。



本日、新たに75名の新生を迎えました。一人一人が緊張した面持ちの中に大きな期待を秘めている姿を感じます。小学校に対して前向きな思いを抱いて入学式に参加したことと思います。小学校入学という大きな節目の初日を立派に過ごそうと頑張っている姿は、本当に素敵です。一日も早く、学校に慣れ、笑顔で元気に活動することを期待します。そして、「学校大好き！」という思いをもてるよう、全校で大切にしていきたいと思っています。

2年生～6年生は、1学年進級しました。様々な緊張や不安もあるでしょうが、新しい学級の仲間たち、新しい担任や教職員との出会いに心を躍らせていることでしょう。誰もが新たなスタートに期待をしていると思います。子どもたちの前向きな気持ちを実現できるような学校づくりを進めていけるよう、全力を尽くしていきたいと思っています。学校の主役である子どもを中心に据えた学校を目指します。

令和4年度も新型コロナウイルス感染予防を見据えながらの教育活動が続きそうです。しかし、この二年間の経験で得たものを生かして『(子どもたちにとって)何ができるのか』『(子どもたちのために)どのように取り組むべきか』を合言葉に全職員でできることと実践することが難しいことを考えながら一年間取り組んでいきます。そして、保護者・地域の皆様に子どもたちの姿が伝わるよう、また、本校の教育活動をご理解いただけるよう、発信していきたいと思っています。今年度も、本校児童の健やかな育成に向け、ご支援とご協力をお願いいたします。